

シンガポール Break the Shellプログラム 現地での生活について

Q. NUSとはどのような大学ですか？

今回おもにセッションが実施されるシンガポール国立大学（NUS）は、1905年に設立された、シンガポールでもっとも古い大学です。世界大学ランキング17位（The Times Higher Education 2025）、アジアでは3位のアジアを中心に世界からの留学生が学ぶワールドクラスの大学です。

Q. 宿泊先はどこですか？

シンガポールの名門校の一つ、Hwa Chong Institute Boarding Schoolの寮に滞在予定です。（別の学校の寮になる場合もあります）1部屋2～4名で、シャワー、トイレは共用です。



Q. 英語力はどの程度必要でしょうか？

英語力の目安は英検準2級程度以上です。現地では様々な方と交流し、自分の考えを伝えたり、他のメンバーの話を聞きながら学んでいくスタイルです。文法が正確でなくても、自分から積極的に英語で質問し、自分の意見を述べる姿勢が重要です。また、参加者6人程度に1人のグループリーダー（現地学生など）がつき、ディスカッションやプレゼンテーションのサポートをしますので、分からないことを積極的に聞いていけば、英語で質問する力も飛躍的に伸ばせるでしょう。

（クラスの様子）



Q. 食事はどのようなものですか？

大学施設内での研修中は3食を寮または大学の施設内で食べます（施設内カフェテリアは現金払いのみ）。市内観光のアクティビティの際は、「ホーカー」と呼ばれる屋台街での食事を予定しています。食事条件は日程表、旅行代金に含まれるもの・含まれないものをご参照ください。



Q. 洗濯はどうしたらよいですか？

コインランドリー（有料）が利用できます。基本的に期間も短いので、下着・肌着類を日数分用意して、コインランドリーはできるだけ使わなくてもいいようにすることをお勧めします。洗剤、ハンガー等を持参して部屋干しはできます。

Q. インターネットの環境はどうなっていますか？

寮施設内では無料Wi-Fiが利用可能ですが、電波の強弱は場所によります。プログラムに関係しないインターネット利用は極力避け、参加者やグループリーダー、ファシリテーター、添乗員との交流の時間を楽しみましょう。

Q. 貴重品の管理はどうしたらいいですか？

セーフティーボックスはありません。貴重品は自分で管理することが基本です。現地到着後、パスポートやその日使わないお金などはスーツケースに入れて鍵をかけて部屋に置いておきましょう。失くさないよう自分自身で管理してください。特に教室移動中やショッピングの後など、紛失報告がありました。十分注意しましょう。

Q. 寮の緊急体制はどうなっていますか？

添乗員は参加者と同じ施設に滞在し、参加生徒の健康・生活管理をサポートします。緊急時には、状況に応じて現地法人スタッフとも連携して対応する体制となっています。